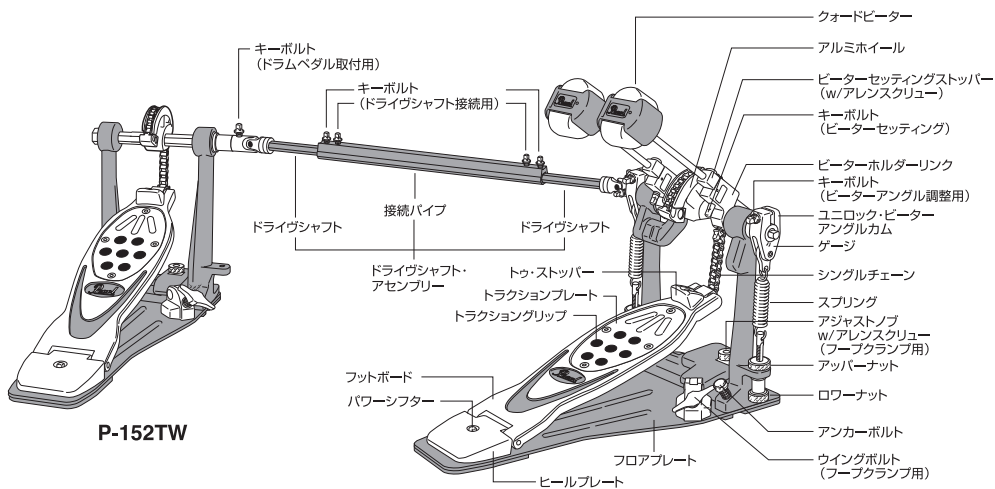


PEARL TWIN PEDAL COMPLETE

P-152TW

取扱説明書

この度は、パールドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



パワーシフター

ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後にスライドさせることにより、3つの異なるアクションを設定することができます。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。(図1, 2)

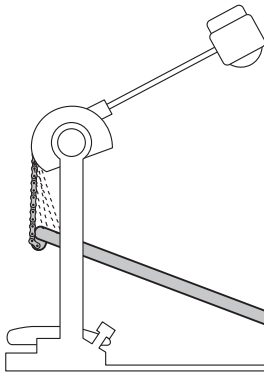


図 2

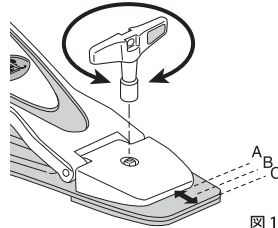


図 1

- A. 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
- B. 素直なアクションが得られるノーマルポジション。
- C. スピーディーなフットワークに対応し、スライド奏法などを多用する人に効果的なポジション。

<注意！> フットボードのヒールプレートは、必ずフロアプレートに固定して下さい。破損する場合があります

クォードビーター

スタンダードなフェルト(A、B)とハードな樹脂(C、D)の2タイプの素材を使用し、それぞれ異なる形状をもたせた4ウェイビーター。AとCは点でヘッドをヒットし、BとDはラインでヒットします。(図3)

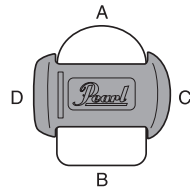


図 3

ビーターのセッティング

ビーターシャフトをビーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します。またシャフトのズレや回転を防ぐため、ビーターシャフトに装着されたストッパーをビーターホルダーリンクの溝にはめ込み、付属の六角レンチで固定します。このストッパーは、セッティングをメモリーする際にも効果的です。(図4, 5)

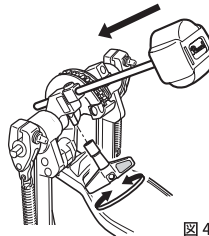


図 4

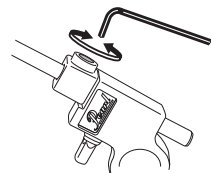


図 5

ビーターアングルの調整

ユニロック・ビーターアングルカムのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えずにビーターの角度を無段階に調整することができます。アングルが決まったらキーボルトで固定して下さい。また、ユニロック・ビーターアングルカムには、新たにメモリーゲージが刻みこまれているため、セッティングの際に便利です。(図6)

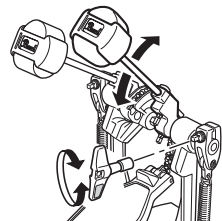
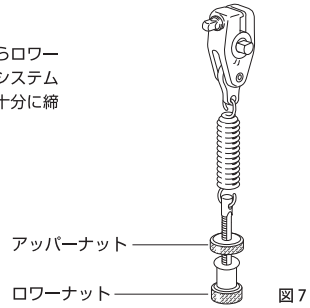


図 6

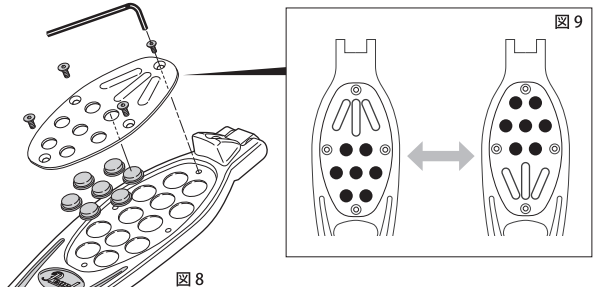
スプリングテンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローワーナットを締めます。弱くしたい場合には、それとは逆の手順で行います。このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい。(図7)



トラクション・プレートとトラクション・グリップ(ストッパー)の設定

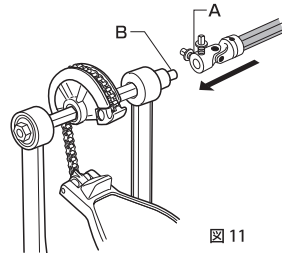
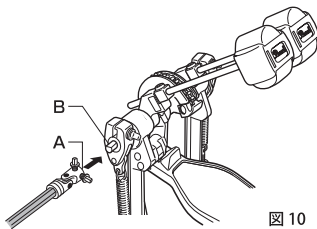
フットボードに埋め込まれたトラクション・プレートのストッパー(トラクション・グリップ)は、個別にとりはずすことができるシステムのため、好みのパターンに変えて、フットボード表面の滑り具合の微調整をすることが可能です。ストッパーをはずす際は、付属の六角レンチでトラクション・プレートをはずしてから行って下さい。(図8) またフットボードのパターンを上下逆にする場合には、トラクション・プレートをはずし、方向を変えて再び固定して下さい。(図9)



<注意!> トラクション・プレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

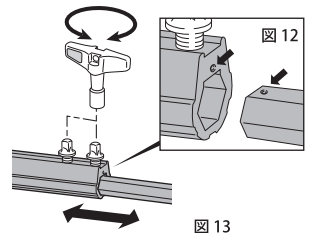
ドライブシャフトの接続

サブペダルの右側にある接続部(突起部)(B)にドライブシャフトのジョイント部(A)を接続します。その際は、サブペダルの突起部の平らな面が上にくるようにフットボードの角度を設定します。(図10, 11)



ドライブシャフトの接続部のキーボルトをゆるめ、左右のペダルの距離を調整し、再び締めて固定します。(図12)

※左右のペダルに接続するドライブシャフト・アセンブリは、ドライブシャフトが中央のパイプにあらかじめ収納されていますが、はずしてしまった場合には、それぞれの接続ポイントにあわせて接続して下さい。(図13)



トゥ・ストッパー

つま先のズレを防ぐストッパー。不要の際は、キーボルトをゆるめ、取り去って下さい。

(図14)

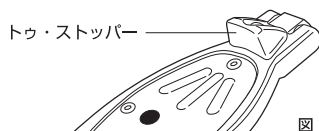
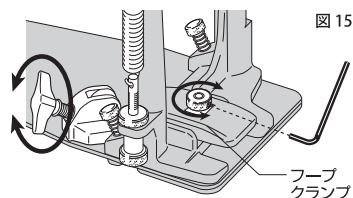


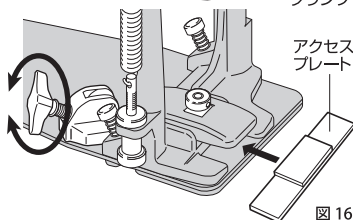
図14

フープクランプ・システム

クランプの支点の高さが調整できる新設計のフープクランプ・システム。メインペダル(右側)のフープクランプで、バスドラムのフープをはさみ、ウィングボルトを締めてペダルを固定します。フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチでアレンスクリュー(ホーローネジ)をゆるめ、アジャストノブをまわして調整して下さい。調整が終わったら、再びアレンスクリューを締めて固定して下さい。(図15)



サブペダル(左側)のフープクランプ部には、演奏中にノイズがでないよう、付属のプレートをはさんで固定して下さい。(図16)



アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパー。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい。(図17)

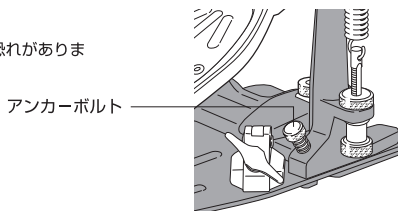


図17

PS-85ペダルスタビライザー(別売)

サブペダル(左側)の安定度を高める為に、フープクランプ部に取り付けて使用します。

<注意！> アレンスクリュー(ホーローネジ)がゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、可動部分には時折注油(グリス等)して下さい。

Pearl[®]
The best reason to play drums.

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますのでご了承下さい。